

枝シュレッダー

取扱説明書

この度は「枝シュレッダー」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

電動工具共通の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
 - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
2. ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
 - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
3. 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
 - ・ 事故の原因となります。
4. 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、延長コードでご使用ください。
 - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
5. 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
 - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
6. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
7. ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
 - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
8. 雨天時の取扱に注意してください。
 - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気が多い所や高温な場所で保管をしないでください。
 - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
 - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。
9. 電源コードの扱いに注意してください。
 - ・ 電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。
 - ・ 電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりしますと、感電、火災の恐れがあります。

警 告

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は十分な太さの出力に見合ったコードを使用してください。
11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
12. 無理な使用を避けてください。
 - ・ 取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。
 - ・ 小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。
 - ・ 著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。
13. 作業に適した服装で行ってください。
 - ・ だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
14. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。
15. 無理な体勢で作業しないでください。
 - ・ 斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。
16. 不意な始動を避けてください。
 - ・ 本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。
 - ・ 移動、手渡し、メンテナンスの際は電源プラグを抜いてください。
 - ・ 稼働させたまま放置しないでください。
17. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。
 - ・ 使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。
 - ・ 故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
18. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 点検・調整・清掃する場合は電源を切り、電源プラグを抜いて作業を行ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。
 - ・ 使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
19. 取扱説明書で指定された正しい付属品やアタッチメントをご使用ください。
20. 充電器のある電動工具の充電器は、充電以外の用途には使用しないでください。

「枝シュレッダー」の安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「枝シュレッダー」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

警 告

1. 炎天下での作業はしないでください。作業される場合は十分に暑さ対策をし、長時間高温下にさらされないよう、休憩をとりながら作業してください。
2. 本製品は防爆構造になっておりません。ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
3. 電源プラグを抜き差しする際には、必ずスイッチをオフにし、動作が止まっていることを確認してから行ってください。また、使用中は、コードを不用意に抜かないよう注意してください。
4. 濡れた手で施行・組み立てしたり、電源プラグの抜き差しをしないでください。
5. 布など燃えやすい素材のカバーを覆ったまま、運転させないでください。熱がこもることによる火災の恐れがあります。
6. 投入口、排出口には手や顔を近づけないでください。
7. 使用中はガラスや石、鉄くずなどが投入口から入らないよう注意してください。
8. むやみに振り回したり、作動させながらの移動や長時間移動はしないでください。機械や付属品に設計されていないような作業をしないでください。
9. 長時間の継続作業は避けてください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ症などの恐れがあります。目安として30分使用ごとに休憩を取ってください。
10. 枝や葉を噛んで動作が不安定になった際は、直ちにスイッチをオフにしてください。稼働中に投入口を覗き込んだり手を入れたりしないでください。
11. 使用中は枝や葉が投入口から飛び出す恐れがあります。投入口に顔や手を近づけたり、止まった枝を手を入れて取り除いたりしないでください。
12. 詰まりが取れない場合は一旦スイッチをオフにし、電源プラグを抜いてから、本体を開けて引っかかった枝や葉を取り除いてください。
13. ブレーカーリセットボタンを押し込んだまま固定して作動させないでください。故障・事故の原因になります。
14. 使用中、モーターから異音がしたり、異常発熱したりした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、販売元に点検・修理を依頼してください。

【法令を遵守してご使用ください】

- 騒音規制について…騒音・振動規制法については、各自治体ごとに政令で定められた内容が異なります。お住まい管轄の法令をご確認のうえ、近隣の方へのご迷惑とならないよう十分に配慮してご使用ください。
- 本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。

⚠ 注 意

1. 本製品は剪定直後の枝木の粉碎を想定された構造になっております。枯木（硬木）はなるべく粉碎しないようにしてください。
2. 雨などで濡れた枝木・枝葉、ツル状の物や竹など繊維質の強い木を投入しないでください。詰まりや故障の原因となります。
3. 大きな木片や広がった枝葉、極端に長い枝などは事前に切り分けてから粉碎してください。投入口が破損する恐れがあります。
4. 大量の枝木を一気に投入口に入れないでください。過負荷によりモーターが故障しやすくなります。
5. 本体の連続使用時間は、1時間の作業時間のうちモーターの実稼働時間が30分以内になるのを目安に、調整しながらご使用ください。
6. 刃部はこまめに手入れをし、よく切れる状態を保ってください。使用後は枝や木片を取り除いた後、よく水分を拭き取ってください。刃部が汚れた状態で作業を行いますと、発熱や発煙、火災の原因になります。
7. 本製品の電源として発電機は使用できません。家庭用電源のみ使用可能です。

⚠ 警告 アテンションシールの意味について

●お客様の安全のために、本体に貼られている以下のアテンションシールをご理解いただき、お守りいただくようお願いいたします。



表示に従わないとケガや事故の恐れがあります。



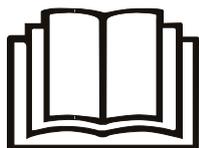
付属の保護ゴーグルと防音保護具（市販の耳栓や防音イヤーマフ等）を着用ください。



手や腕を切断する恐れがあります。動作中は身体を近づけないでください。



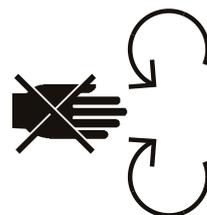
破片が飛び出す恐れがあります。投入口をのぞき込まないでください。



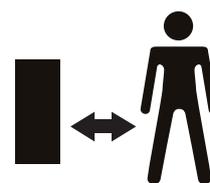
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。



使用しない時は電源プラグを抜く。破損したコードは使用しない。



手や衣類などを巻き込む危険性があります。絶対に近づけないでください。



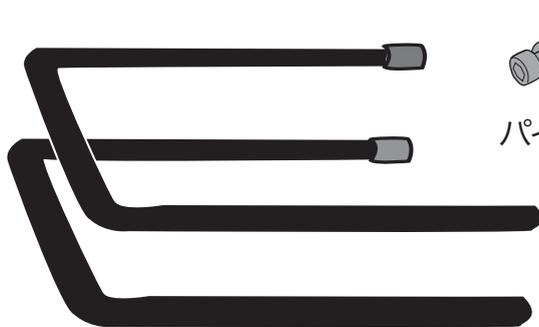
作業中は稼働部から十分な距離をとり、第三者や子どもを近づかせない。

基本仕様

枝シュレッダー		YF5458
電圧	100 V	
電流	15A	
定格時間	30 分	
消費電力	1450W	
最大粉砕能力	径 45mm ※	
サイズ (約)	幅 47× 奥行 53× 高さ 88cm (組み立て品)	
重さ (約)	12.5kg	
材質	炭素鋼、樹脂、スチール、他	

※最大粉砕能力は木の材質によって異なります。
 ※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので
 あらかじめご了承ください。
 ※付属品は保証書にある問い合わせ先からご購入いただけます。

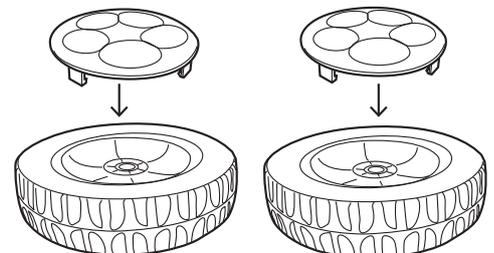
【組み立て部品】



パイプ脚用ネジ × 2
 ※キャップ2箇所



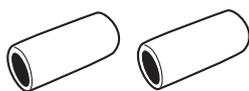
パイプ脚用ネジ × 4



タイヤ・ホイールカバー × 2



タイヤ軸パーツ (お届けの状態)



ベアリング × 2



ナット × 2



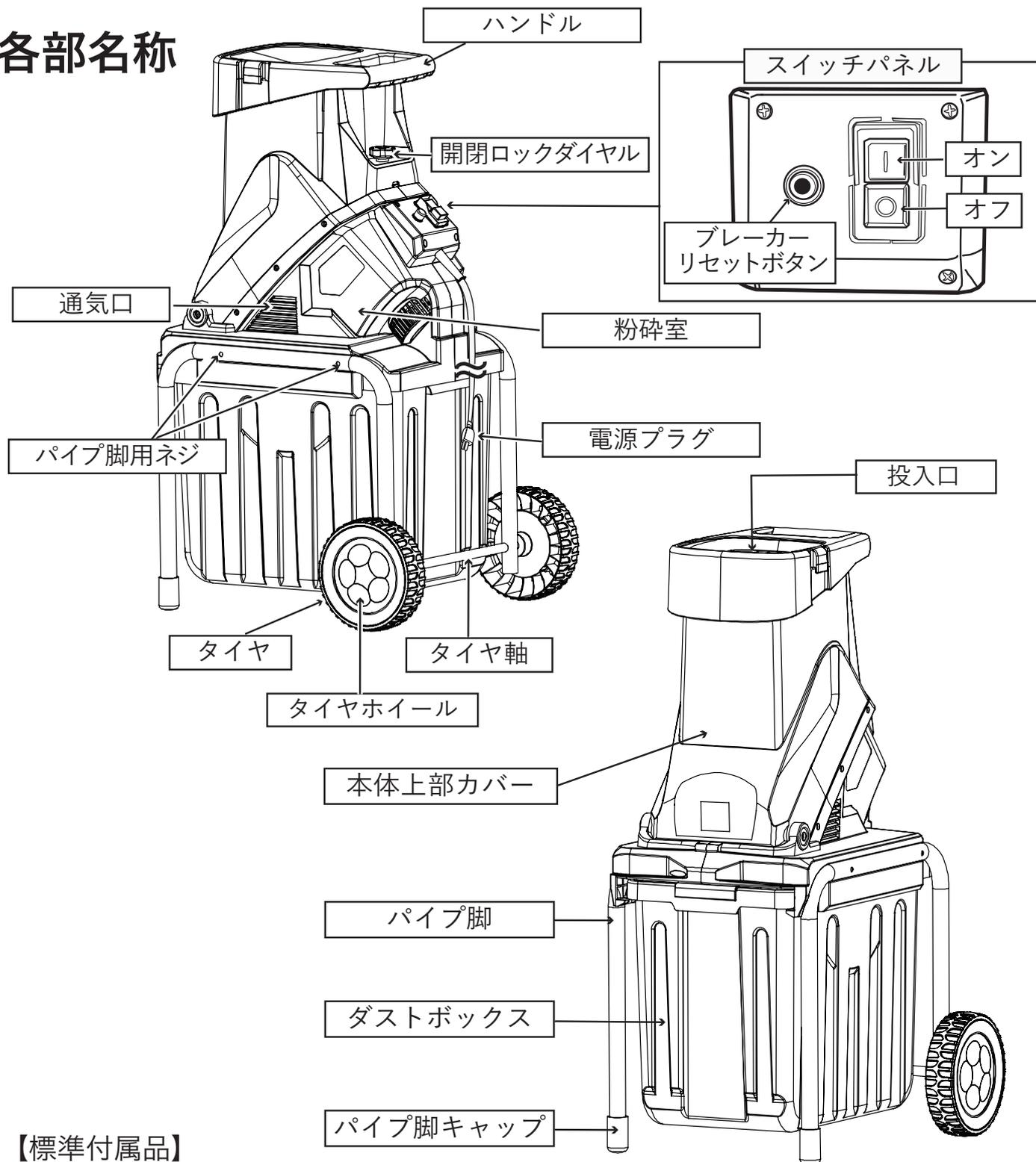
タイヤ軸カバー

タイヤ軸



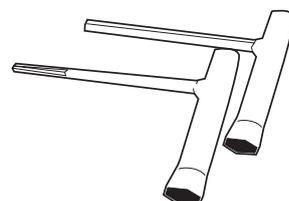
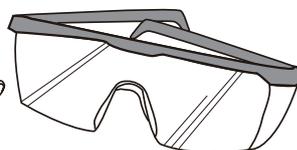
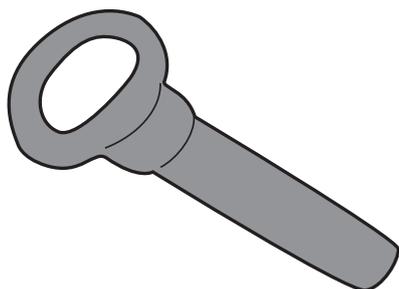
ワッシャー A × 2 ワッシャー B × 4

各部名称



【標準付属品】

押し込み棒・手袋・ゴーグル・六角ボックスレンチ×2



作業の前に

●本体を横に倒して組み立て作業を行ってください。床や本体にキズがつく恐れがありますので下に毛布や段ボールなどの緩衝材を敷いて組み立ててください。



警告

- 組み立てが完全に終了するまでコンセントに接続しないでください。
- 完成するまでは本体とパイプ脚を立てないでください。

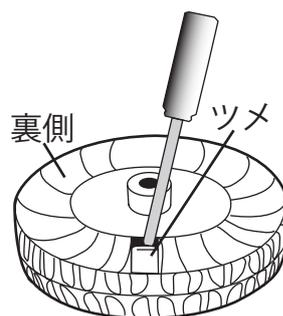
お届けの製品は、タイヤ軸に組み立てパーツ一式が取り付けられた状態です。はじめにナットを外して、全てのパーツが揃っているか P6 を参照のうえご確認ください。

ナットをゆるめたり締め付ける際、軸が回転してうまくナットがまわらないことがあります。本体に付属の2つのボックスレンチを使用し、片側からナットを抑えながら、もう片方のナットを回すようにしてください。

お届けのタイヤ軸からナットを外す



タイヤからホイールを外すときはタイヤを裏返し、4箇所ある爪をマイナスドライバーなどで浮かせて取り外してください。

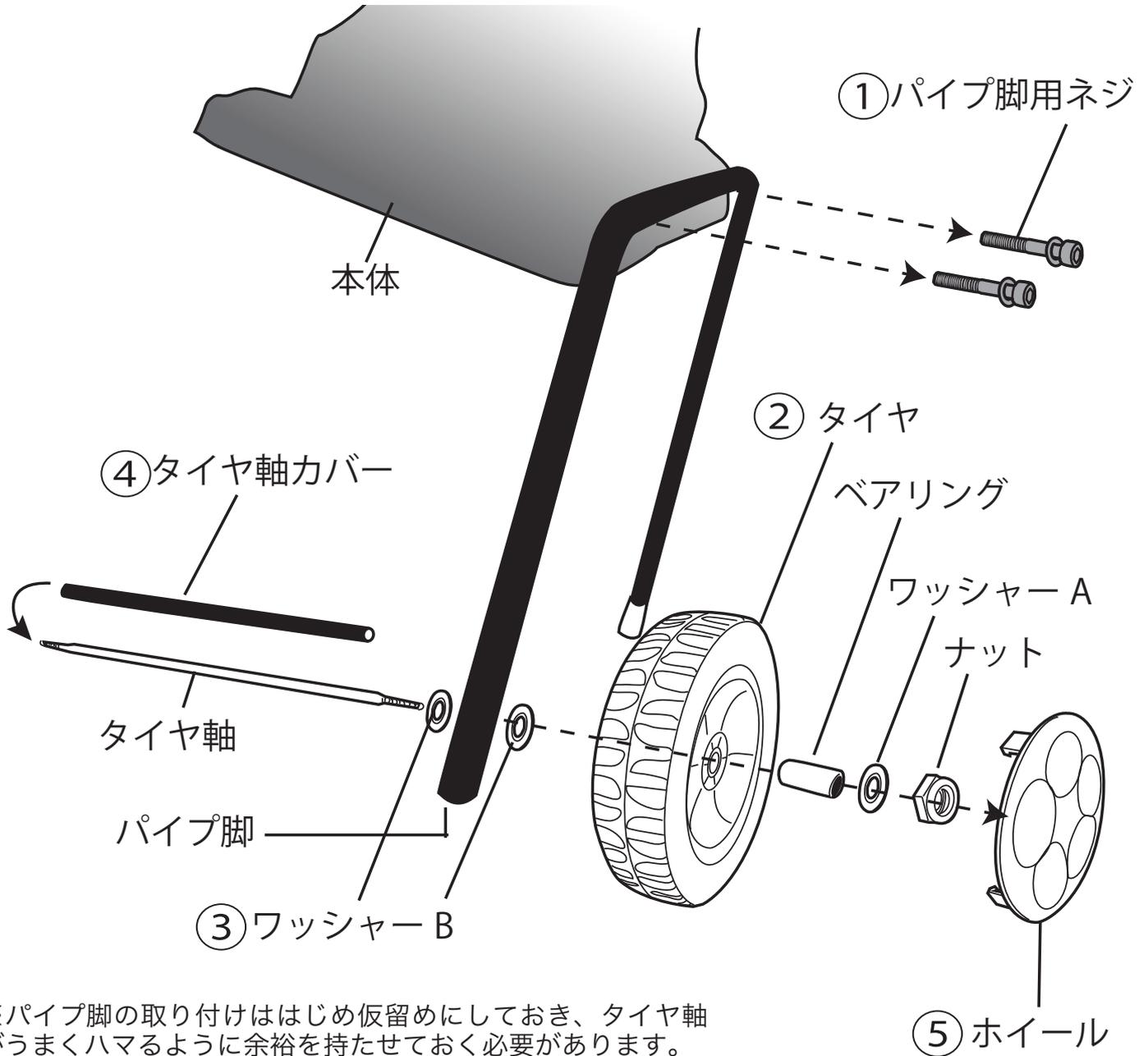


ホイールの外し方
4箇所のツメを外して浮かせてからホイールを外します

組み立て方:

- ①本体を横に倒し、パイプ脚用ネジを付属の六角レンチ（棒レンチ側）で2箇所をパイプ脚に仮留めします。(最後まで締めないでください)
- ②タイヤの穴にベアリングを入れてタイヤ軸を通し、ワッシャーA(穴が小さい方)とナットを被せて六角レンチ(ボックスレンチ側)で締め、タイヤ軸に取り付けます。
- ③パイプ脚を挟み込むようにワッシャーB・パイプ脚・ワッシャーBの順になるようにパイプ脚外側の穴にタイヤ軸に差しこみます。

- ④タイヤ軸カバーをタイヤ軸に被せてから、反対側のパイプ脚も①同様に取り付けてください。
- ⑤軸とタイヤが取り付けられたら、四箇所仮留されているパイプ脚用ネジを最後まで締め上げて完全に取り付けください。最後にタイヤにホイールを被せます。



※パイプ脚の取り付けははじめ仮留めにしておき、タイヤ軸がうまくハマるように余裕を持たせておく必要があります。

- ⑥最後にダストボックスを入れます。引き出しを入れる要領で、上部のツメにダストボックスのフチが引っかかるように入れて押し込んでください。
- ※スイッチパネルのある前面側からは入れられません。
- ※フチを引っかけるツメの内部にローラーがあります。

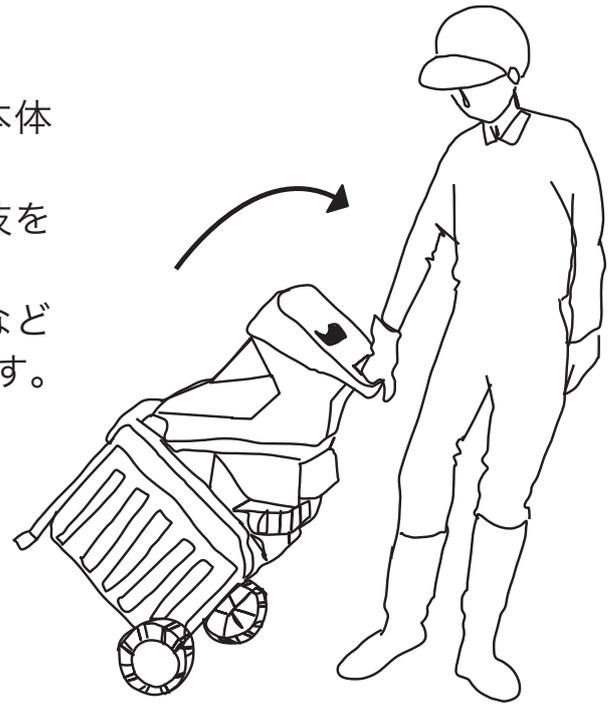
作業方法

作業前の準備：

移動時はハンドルを持って、タイヤ側に本体を傾けるとスムーズに進めます。

本体を安定した場所に設置し、粉碎する枝を近くに置いておきます。

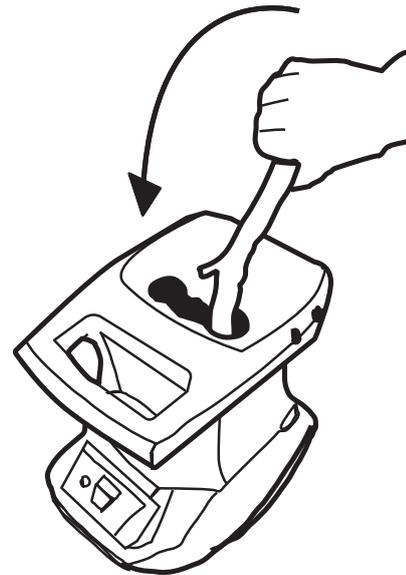
長すぎる枝や、広がっている枝、太い枝などは事前にある程度のサイズに分けておきます。



作業場に本体を設置し、本体の電源プラグを電源コンセントにつなげます。

ダストボックスが奥まで入っているのを確認してから、スイッチをオンに入れ、稼働を確認したのち、投入口から枝を少しずつ入れていきます。

※ダストボックスは奥までしっかり入れてください。隙間があると作動中に振動で引き出しが飛び出すことがあります。



警告

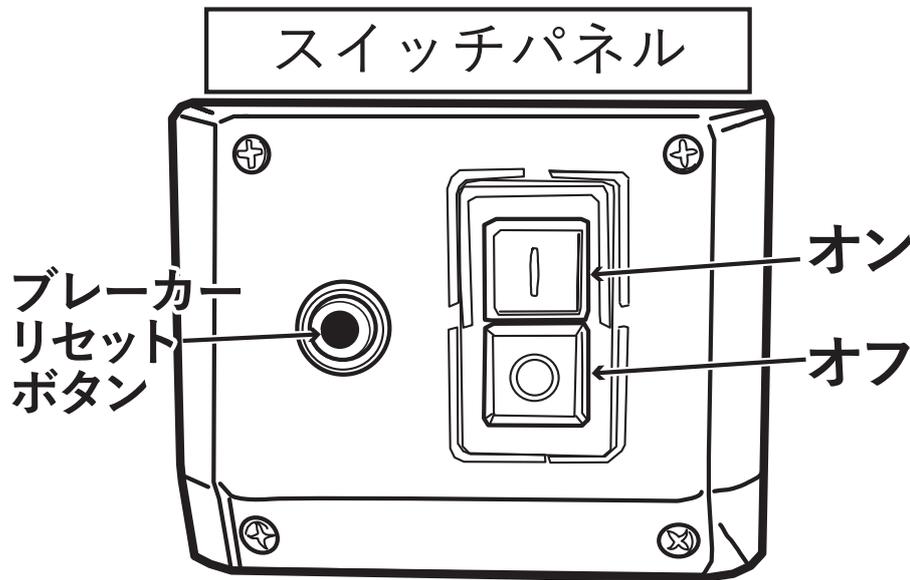
- 稼働中はいきなりプラグを抜かないでください。故障の原因となります。
- ブレーカーリセットボタンとオンボタンを同時に押したまま稼働させないでください。非常に危険です。
- 作業中は絶対に投入口を覗かないでください。枝が飛散することがあり大変危険です。
- 枝が粉碎されずに残っている際、稼働中に投入口から手を入れたり、覗きこんで取り除いたりしないでください。

スイッチパネルの操作方法：

オンボタンを押して始動させます。

オンボタンは凹んだ状態になっていますがさらに押し込むと始動します。始動後は連続稼働し、オフボタンを押すまで動き続けます。

稼働中、過剰に負荷がかかった場合には電源が落ち、自動停止状態になります。ブレーカーリセットボタンは自動停止状態を解除するために使用します。



押し込み棒の操作方法：

投入口から入れた枝木や葉枝が粉碎されずに上部に残っている時には、押し込み棒を使って枝葉を奥まで押し込んでください。

刃が枝を噛み込んで過負荷がかかり、自動停止してしまった際は、無理に再稼働させたり押し込んだりせず、一度作業を止め、中を開き、刃にひっかかった枝を取り除いてください。自動停止時は最低でも5分程度本体を休ませてから作業を再開してください。（自動停止後の詳しい操作方法はP12～をご参照ください。）



⚠ 注意

- 作動中にダストボックスの出し入れをしないでください。粉碎された木片が飛散して跳ね返る恐れがあります。
- ダストボックスの半分以上に木片がたまっている状態で作業を続けしないでください。

自動停止したとき：

本体が自動停止した際は必ず作業を中断し、下記の手順に従い内部を確認してください。

①電源プラグを抜いてから、本体中央にある開閉ロックダイヤルを反時計回りに回し、固定ネジを緩めます。

②最後までダイヤルを回して固定ネジを外し、本体上部カバーを持ち上げると内部が開きます。(本体上部カバーは安全性のため180°完全には開きません。)

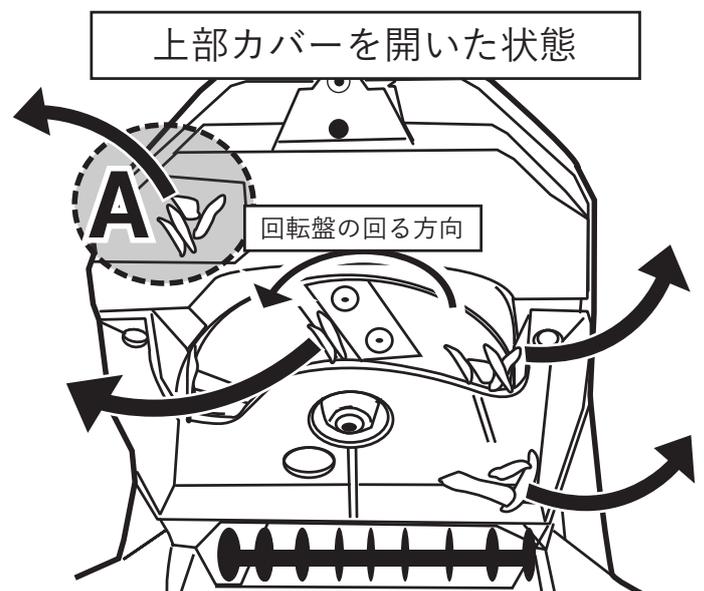
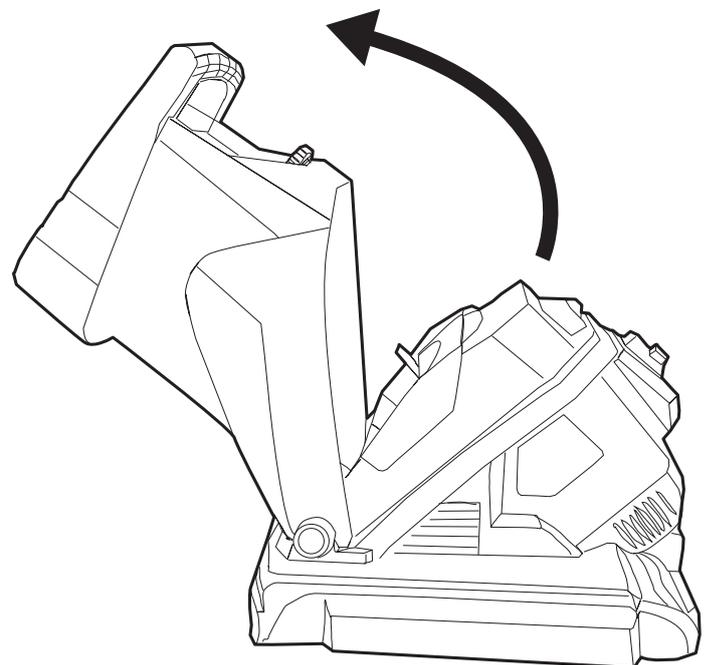
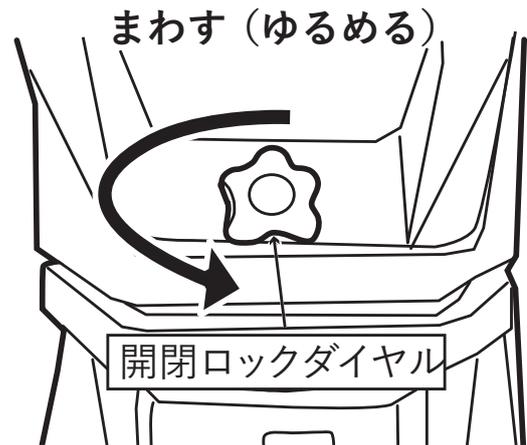
③粉碎刃についた木片やひっかかった枝を取り除いてください。刃の取り付けられた回転盤は手動でも回ります。回転盤と飛散防止カバーの間に枝が挟まっていることがありますので、確認し回転盤を回しながら取り除いてください。

④噛み込んだ枝を無理に引っ張ると刃を痛めることとなります。少しずつ確実に取り除いてください。

⑤詰まりが取れましたら本体上部カバーを戻し、ダイヤルを時計回りに回して最後までしっかり締め、固定してください。

※開閉ロックダイヤルと本体上部カバーは安全スイッチと連動しています。完全に閉まっていないと安全装置が解除されず稼働しない仕組みになっています。

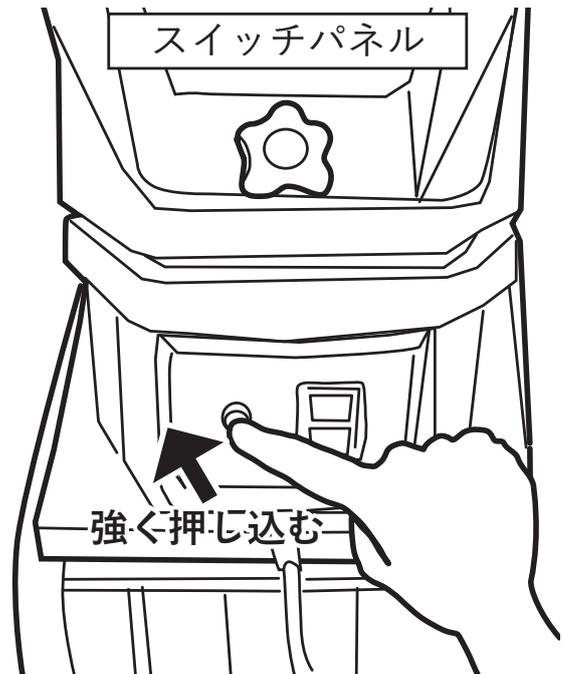
※右図 A の箇所に木屑がたまっていると上部カバーが完全にしまらず通電を妨げ、稼働できないことがあります。



⑥ 5～10分本体を休ませた後、電源プラグを差込み、ブレーカーリセットボタンを3秒間強く押し込みます。

※ブレーカーリセットボタンは押し込んだ後に自動的に凸状態に戻る仕組みになっています。しっかり押し込んだ後はリセット操作が完了していますので、ボタンを押し込んだままオンスイッチを押さないでください。

⑦スイッチをオンに入れて稼働を確認後、作業を再開してください。



再稼働できないときは？—以下をご確認ください。

・ **本体の温度や作業場の気温が高くなっていませんか？**

安全装置にサーモスタットが内蔵されているため、高温に晒されると稼働できなくなる場合があります。冷却期間を置いてから再稼働をお試しください。

・ **開閉ダイヤルが途中で止まっていますか？**

開閉ロックダイヤルの固定ネジが斜めにささっているとうまくネジがしまらず、上部カバーが少し浮いているため稼働できないことがあります。

・ **木屑がたまっていますか？**

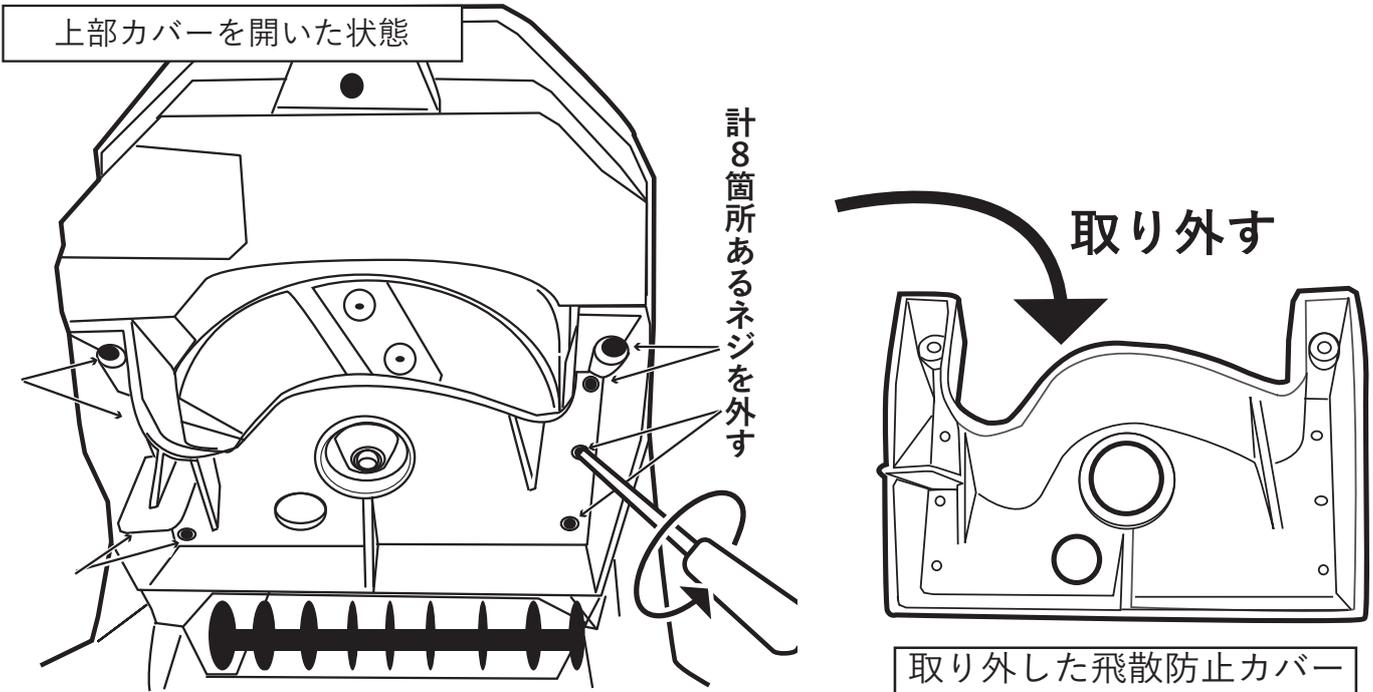
上部カバーを閉めた際に接する回転盤上部（図のA）の箇所に木屑がたまっていると上部カバーが少し浮いているため稼働できないことがあります。木屑を取り除いて再稼働させて下さい。

注 意

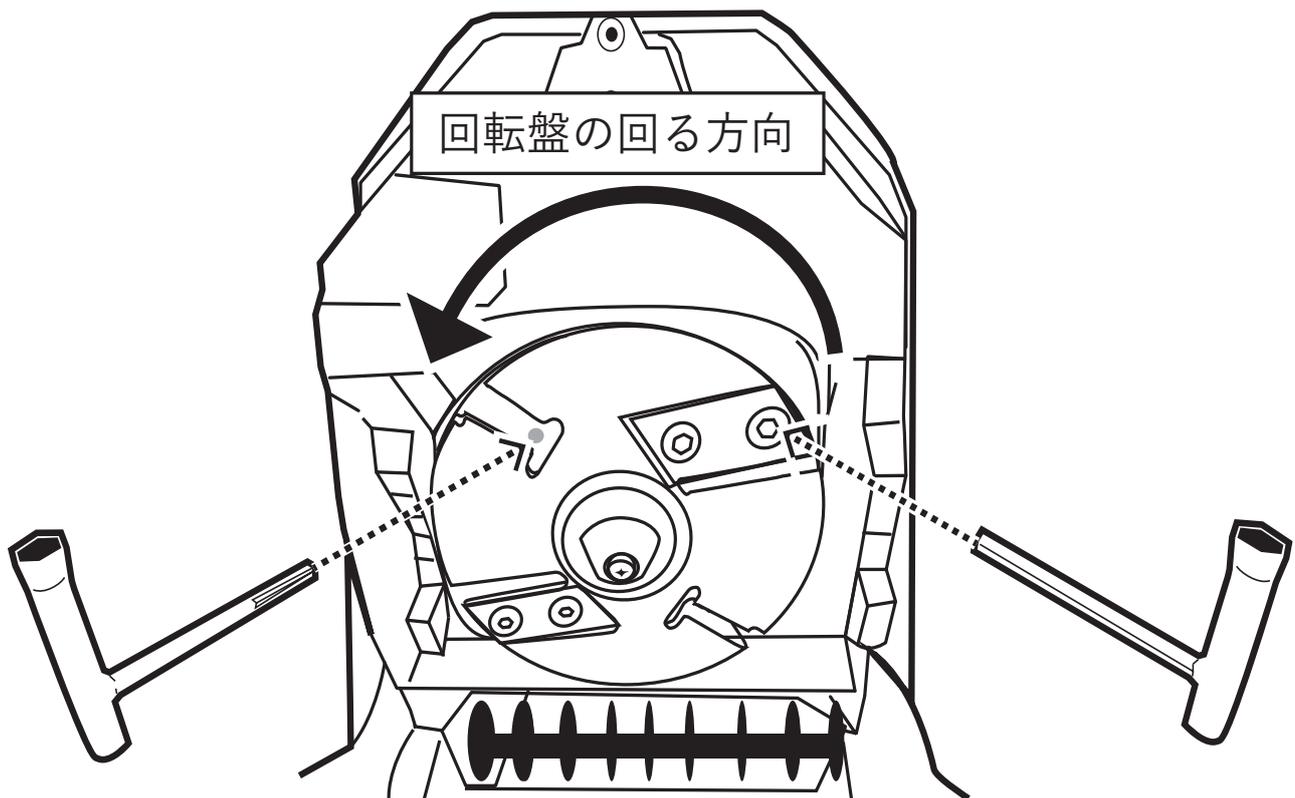
- 最大粉碎能力は約径 4.5cmですが、剪定直後の枝木の粉碎を想定した製品のため、枯木(硬木)の粉碎はお控えください。刃を著しく傷める原因となります。
- 竹のような節のある筋の通った木は粉碎できません。
- 雨などで濡れた枝木・枝葉を投入しないでください。詰まりや故障の原因となります。
- 柔らかい葉だけの粉碎や、茎や草、蔓のような柔らかい細木のみ場合は粉碎できない場合があります。一気に投入したり無理に詰め込んだりしないでください。詰まりは故障の原因になります。他の枝木と一緒に少しずつ投入しながら様子を見てください。
- 自動停止が作動した後は十分な冷却時間が必要です。ブレーカーリセットボタンを押してもスイッチオンが反応しない場合は、時間を少しおき本体を休ませてください。無理に続けて使用すると故障の原因となります。

替刃の交換方法：

1. 開閉ロックダイヤルを回してゆるめ、本体上部を持ち上げて開きます。（詳しくはP12～をご参照ください。）
2. 銀色の飛散防止カバーを外します。カバーは8箇所が黒いネジで留められているため、サイズの合うプラスドライバーですべて外します。（プラスドライバーは付属しておりません。）外したネジはなくさないように保管してください。



3. 回転盤を回して切込部分から内側の穴にレンチで押さえつけられるよう位置を調整します。本体付属のレンチで穴を押さえ、回転盤が回らないように固定します。

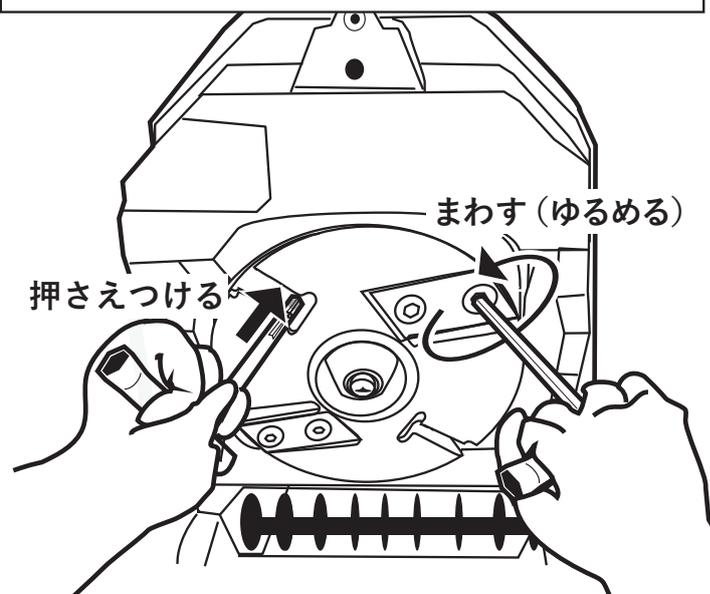


4. もう一つの六角レンチを使い、ネジ2箇所をゆるめて刃を外します。刃は2箇所にありますので、計4箇所のネジを外します。

※ボルトが硬くてうまく回せない時は、無理に回さないでください。六角穴が舐めてしまいレンチがうまく噛まなくなってしまう恐れがあります。

※ネジが硬い時には、ボルトの上からハンマーなどで強く叩き、ボルトを少しゆるめてからレンチを使用してください。

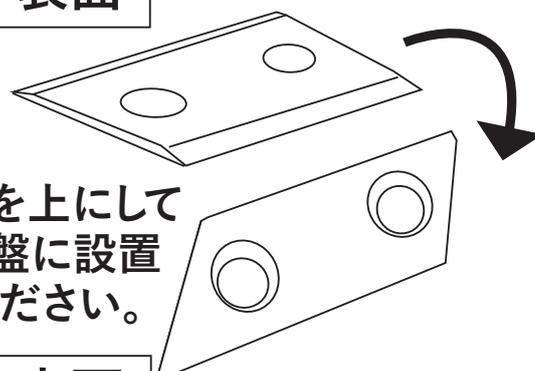
回転盤が回らないように押さえながらネジを回す



5. 替刃を設置します。この時、刃がついている（数字の書かれている）表面を下側に向けます。刃が見えるようにつけると切れなくなってしまうので。

※替刃は両刃式になっています。粉碎時は片側しか使用しませんので、左右を逆に入れ変えて設置することで摩耗していないもう片側に交換することができます。両側が摩耗した場合に新しい刃と交換するようにしてください。

表面 刃が見えている側



裏面を上にして
回転盤に設置
してください。

裏面 刃が見えていない側

6. 再び回転盤を押さえつけて固定し、刃にネジを取り付けて固定します。ゆるまないようにしっかり締めあげてください。

※稼働中に刃が外れると大変危険です。必ず最後まで強く締めつけてください。

7. 飛散防止カバーを元に戻し、本体に取り付けます。最後に上部カバーを被せて開閉ロックダイヤルを最後までしめてください。

※開閉ロックダイヤルは最後まで締めないと安全装置が解除されない設計になっております。ゆるいままですと稼働しませんのでご注意ください。



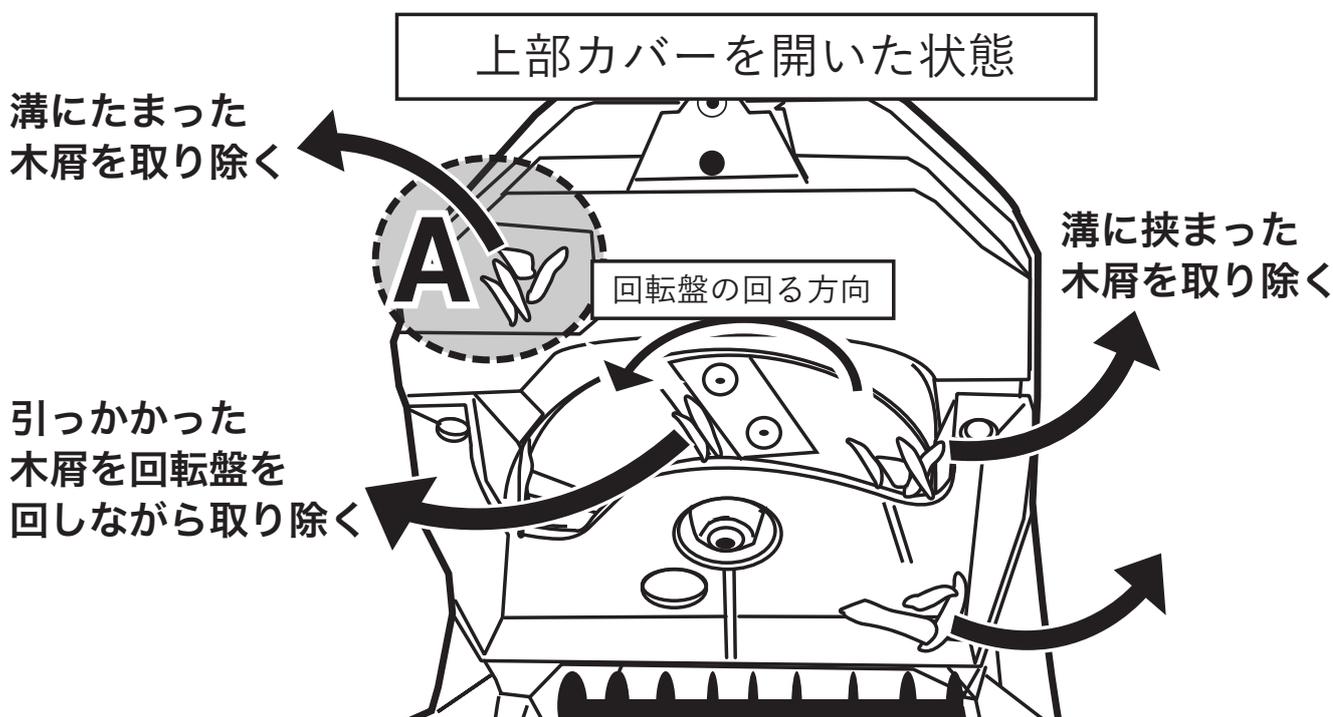
警告

- 替刃は両刃式になっており大変危険です。取り扱いは必ず滑り止め付き手袋をはめて行ってください。
- 替刃のお手入れの際は必ず電源コンセントから抜いて行ってください。

お手入れと保管

本体のお手入れ：

- ・ 使用後は毎回必ずダストボックスと本体内部を清掃してください。
- ・ ダストボックスに入った木屑を捨ててください。
- ・ ダストボックスは水洗い可能です。洗浄後は水気を拭き取りよく乾燥させてください。
- ・ 本体についた汚れや木屑は乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジンなどは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・ 放熱用の通気口は常にきれいにし、木くずや破片がないようにしてください。ナイロンカバーや布などで覆ったまま稼働させると故障の原因となります。
- ・ 泥汚れや樹液などがひどい場合には、よく絞った布に中性洗剤をつけて水拭きし、最後に乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ・ 本体内部の飛散防止カバーにたまった木片・木屑は必ず取り除いてください。
- ・ 本体上部を開け、回転盤を回して回転盤・替刃・Aの箇所についた木片を取り除いた後、余分な水分などをしっかりふきとってから、しまってください。
- ・ 回転盤の汚れがひどい場合はP18～を参照のうえ回転盤を洗浄してください。

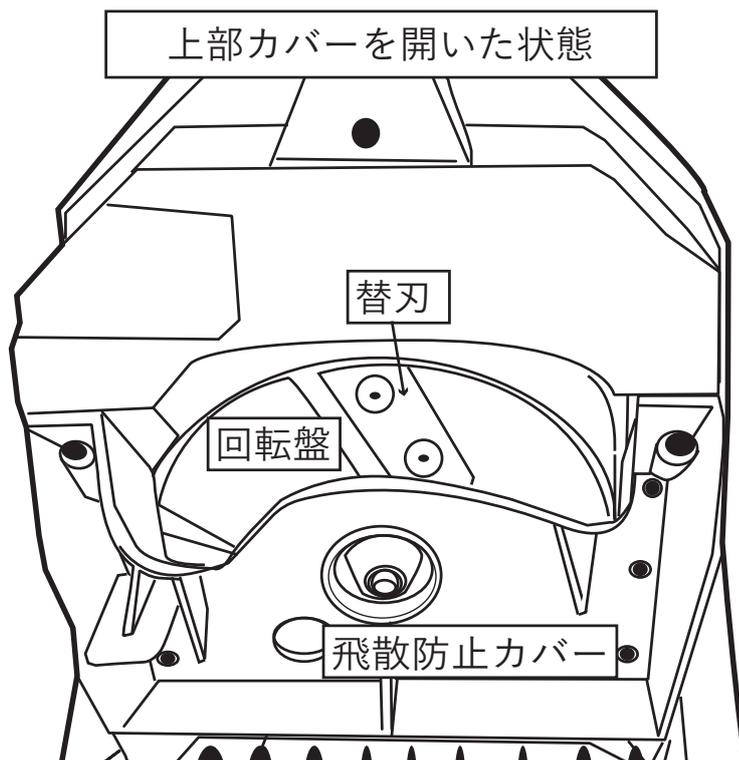


警告

本品の水洗いは絶対にしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。また、雨ざらしになる場所での使用や保管はおやめください。

【点検】

- ・ すべてのナット、ボルト、およびネジをしっかりと締めて、装置が安全な作業状態にあることを確認してください。
- ・ 替刃は使用によって経年劣化していきます。粉碎能力が極度に低下したり刃に欠損がある場合は、ご使用をお止めください。
- ・ 磨耗した部品や破損した部品がないか使用前に点検してください。損傷した部品は交換してから使用してください。



【保管】

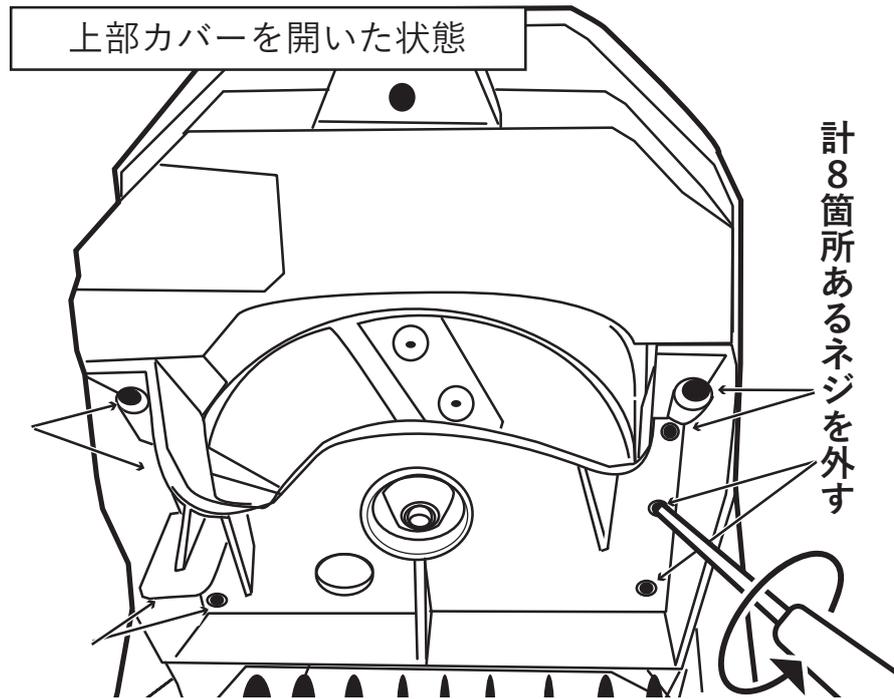
- ・ 長期保管する際には、ビニール袋などに密閉状態で保管しないでください。
- ・ 子供の手が届かないところ、または錠が掛られるところで保管してください。
- ・ 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・ 直射日光が当たったり、車内など高温になるところには置かないでください。
- ・ ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。
- ・ 付属品と取扱説明書が紛失しないように、袋などにまとめて保管してください。

【故障・修理】

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社にお申しつけください。

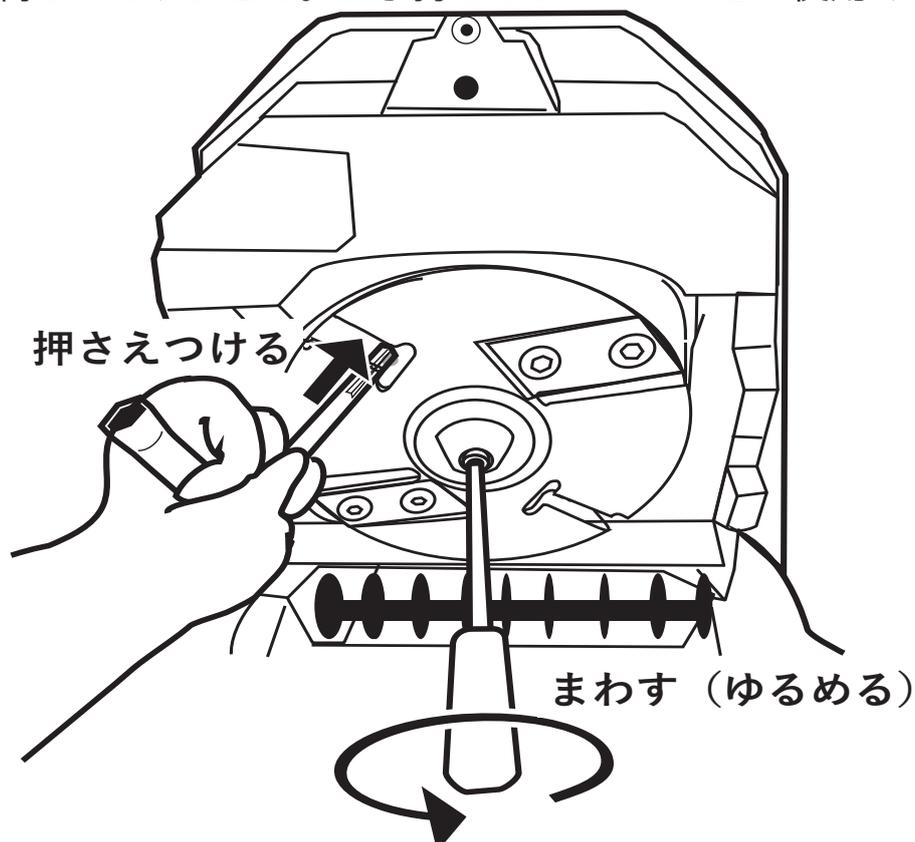
回転盤のお掃除：回転盤の汚れがひどい時のみ必要に応じて行ってください。

1.P14の「替刃の交換方法」1を参照のうえ銀色の飛散防止カバーを外します。



2.P14の「替刃の交換方法」2を参照に、回転盤がまわらないように六角レンチで内側の穴を押しつけて固定します。

3. 回転盤中央のプラス穴ネジをプラスドライバーでまわして外します。(プラスドライバーは付属していません。お手持ちのドライバーをご使用ください。)



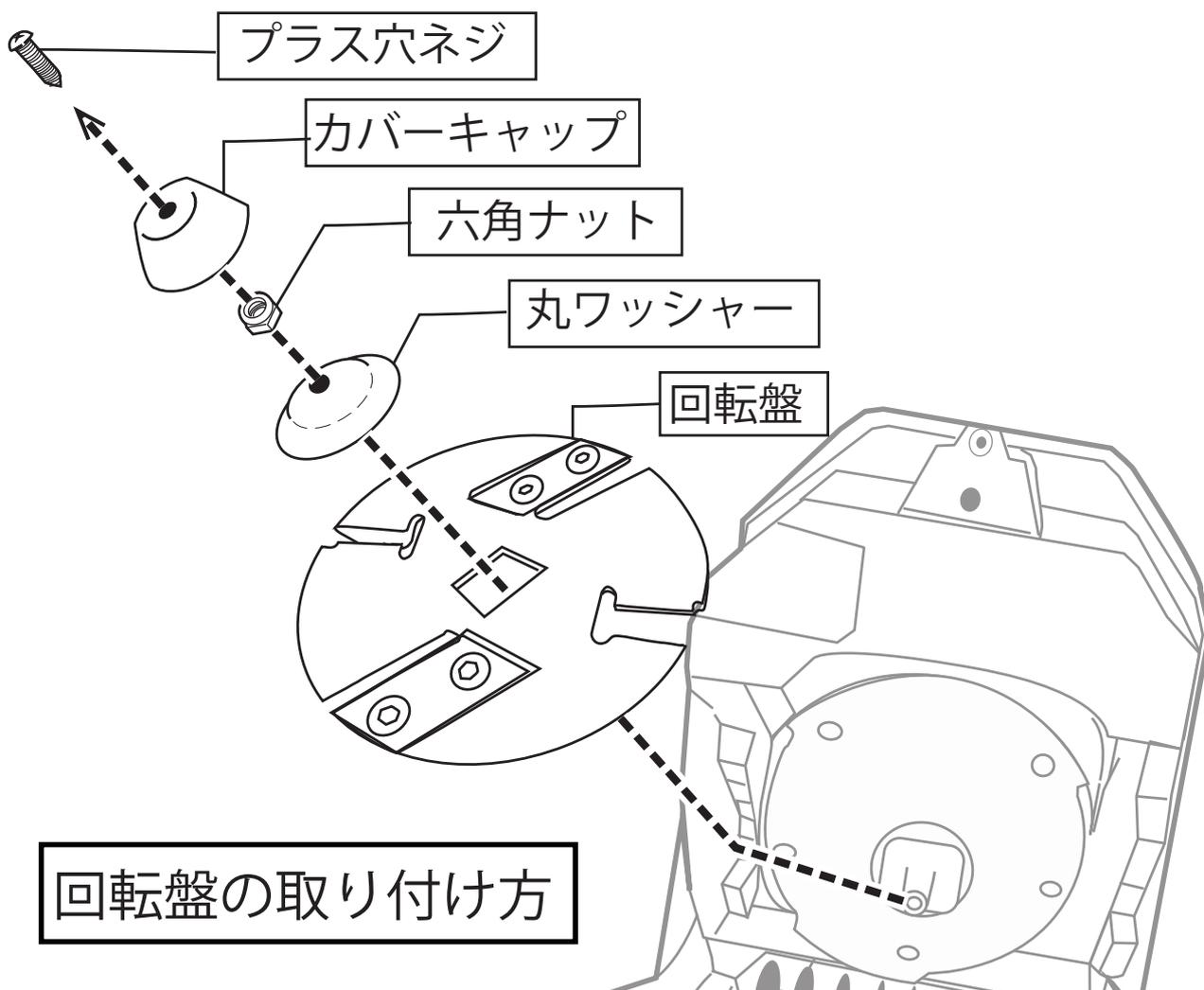
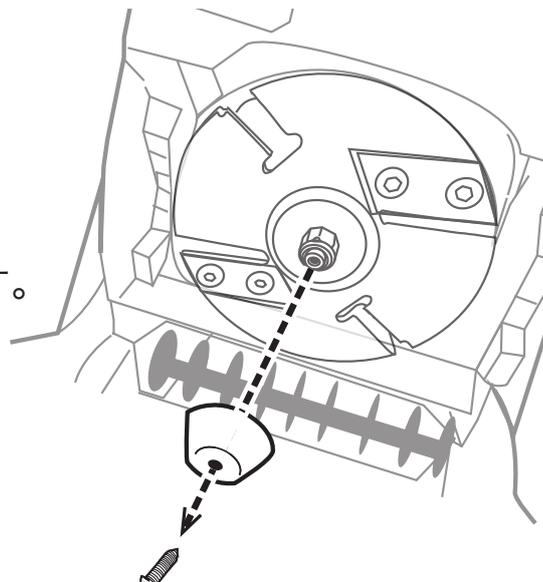
4. ネジが外れるとカバーキャップが外れます。
両方を取り外し、さらに下にある六角ナットを
お手持ちのレンチもしくはスパナで回して
外してください。

5. 六角ナットが外れると丸ワッシャーが外れます。
両方を取り外し、回転盤をゆっくり上に持ち上げ
て本体から外します。

6. 回転盤は樹液や樹脂などで汚れている場合は
専用のクリーナーを使って拭き取ってください。

7. 洗浄が終了したら、取り外した時と逆の手順で取り付けていき、元に戻します。
替刃を交換する場合は、本体に回転盤を取り付ける前に交換しておいてください。

8. ナットやネジの締め付けは確実に最後まできつくしめあげるようにしてください。
締め方がゆるいと回転の振動でゆるんでしまうことがあり、大変危険です。



故障かな？と思ったら

よくあるお問合せ	ご確認ください。
稼働できない	<ul style="list-style-type: none"> - 中央の開閉ネジは完全にしまっていますか？開閉部を開けたあとに、ネジを完全に最後まで回さずに蓋を閉じると、安全装置が下りずに稼働できないことがあります。 - ご使用の延長コードの最大電流をご確認ください。18A以上出力対応の延長コードをご使用ください。 - 内部に異物が詰まっていますか、刃と回転盤をご確認のうえ、清掃をお願いします。
異音がする	<p>使用中にモーターから通常とは違う稼働音がした場合は一旦止め、本体を休ませてください。そのまま使用すると故障の恐れがあります。</p>
使用中にすぐ止まる	<ul style="list-style-type: none"> - 過負荷により内蔵ブレーカーが落ちた可能性があります。内部の枝や挟まった木屑があれば取り除き、ブレーカーリセットボタンを押して再稼働させてください。作業時間や外気温の高さによっては数時間～最長2日ほど休ませ、十分に冷ましてからご使用ください。 - 短時間に何度も自動ブレーカーが作動する場合は粉砕している枝木の節が強い・硬い・乾燥しているなどの理由により連続的に過負荷がかかりすぎている場合があります。ブレーカーリセットによる再稼働を短時間に何度も繰り返すとモーターに過負荷がかかり故障の原因となります。一旦使用を止め、モーターを休ませてください。
突然止まってブレーカーリセットボタンを押しても再稼働できない	<ul style="list-style-type: none"> - 炎天下での使用や過負荷での稼働時に内蔵自動ブレーカーが作動することがあります。こちらの製品はサーモスタットによりオーバーヒートするとブレーカーリセットボタンでも安全装置が下りない時がございます。その場合は十分に時間をおいて冷却させてから、今一度ブレーカーリセットボタンを強く押し込んで再度お試しください。 - 中央の開閉ネジが完全にしまっていることをご確認ください。内部に木の皮や木片が挟まっていたり、ネジが斜めにささっていると稼働できないことがあります。 - 二日以上本体を休ませ、詰まりを取り除いても再稼働できない場合は内部トラブルの可能性がございます。弊社お問合せ窓口にお問合せください。

よくあるお問合せ	ご確認ください。
<p>投入口と回転盤の間に太い枝がはまってつかえてしまい上部カバーが開けられない</p>	<p>上部カバーは安全上の理由で、取り外しにくい構造になっております。枝は円盤の上の飛散防止カバーと円盤の間に挟まっている場合が多いので、上部カバーを力を入れて開けていただいても問題ありません。枝が根元から折れるよう投入口側から押し込みスティックでつかえている棒の位置を動かしながら開けてください。</p>
<p>替刃のボルトがきつく、外せない 穴が舐めてしまって外せなくなりました</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ボルトが固い場合斜め上から強めに叩いていただくことで、ボルトが緩みやすくなります。また、市販の浸透性の高い潤滑油をご使用いただくことで緩みやすくなります。この方法はハンマーの衝撃と振動でボルトを緩ませる方法です。強く叩く必要がありますので金属製のハンマーをご使用いただき、1度で緩まなくても何度かお試しください。 - 無理に回すとレンチ穴が舐めてしまうため、緩まない時は力づくでレンチを回さないでください。 - ボルト穴が舐めてしまった場合は穴が潰れるようにハンマーなどで真上から叩くとエッジが戻って回しやすくなる場合があります。 - 完全に回らなくなってしまったボルトはねじプライヤーやラチェットレンチで一度外していただき、別のボルトに交換してください。刃の固定ボルトは交換用替刃を購入すると新しいものが付属されてきます。
<p>ダストボックスが取り出せない</p>	<p>ダストボックスの奥側は本体脚部に爪が引っかかる仕様になっております。ダストボックスを強く引き出すことで外れます。取り外しにくい時は裏側からダストボックスを強めに叩き、事前に爪を外してから引き出してください。</p>
<p>切れない 切れ味が悪い</p>	<p>竹など節の強い木や、水分が飛んだ乾木などは粉碎できないことがあります。生木の粉碎作業が推奨されています。</p>
<p>木屑がつまりやすい</p>	<p>枝木がうまく入っていなかったり、葉が多い枝木を大量に投入すると詰まりやすくなります。本体上部カバーを開けて詰まっている木屑などを取り除いてください。</p>
<p>タイヤホイールが割れた タイヤが破損したがそのまま使っても問題ないか</p>	<p>交換用パーツをお買い求めください。そのまま使用されると事故の原因となり大変危険です。</p>

よくあるお問合せ	ご確認ください。
回転盤が割れた 飛散防止カバーが割れた	交換用パーツをお買い求めください。そのまま使用されると事故の原因となり大変危険です。
刃の切れ味がすぐに悪くなる	<ul style="list-style-type: none"> - 替刃は消耗品です。刃に過度な負荷のかかる使用や刃が摩耗した状態での使用は刃の折れ、機械の破損、ケガの原因となります。切れ味の悪くなった刃はすぐに交換してください。使用後の刃は乾いた布で汚れや水分をよく拭き取ってください。 - 替刃のボルトの締め付けが甘いと、使用中に外れて割れてしまうことがあります。取り替えの際はボルトをしっかり締め付けるようご注意ください。
スイッチを入れると稼働音が一瞬鳴るが、すぐ止まる	<ul style="list-style-type: none"> - 回転盤を手で動かし、回るかどうかご確認ください。回転盤の下に枝が引っかかって回らなくなっていると作動時の過負荷で止まる場合があります。 - やわらかくしなりのある枝木を大量に投入すると回転盤とダストボックスの間に枝木が絡まって動かなくなってしまうことがあります。P18-19を参照のうえ円盤を取り外し内部を清掃してください。 - 回転盤は手で回せるが、稼働できない場合は内部トラブルの可能性があります。ただちに使用を停止し弊社お問合せ窓口にお問合せください。
モーター音はなるが、回転盤が回転していない	内部トラブルの可能性があります。ただちに使用を停止し弊社お問合せ窓口までお問合せください。

保証書

お買い上げ年月日： 年 月 日

保証期間：お買い上げから 1年間（本体）

※替刃は消耗品のため、保証の対象に含まれません。

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- (1) 不適切な使用方法、および不当な修理や改造による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下による故障、損傷。
- (3) 火災、地震、水害、落雷、その他、天災地変や異常電圧による故障、損傷。
- (4) 一般家庭用以外（業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
- (5) ご使用上で生じた外観上の損傷、および経年劣化。
- (6) 本書とお買い上げ時の領収書、あるいはご購入明細書の提示がない場合。

販売店名 ※記載がない場合はご記入ください。購入履歴は販売店に残っています。

輸入・販売元：エアロボックス株式会社 企画：アメリカ 製造：中国
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-13-11

不具合・修理・製品情報に関するお問い合わせは



ナビダイヤル®

0570-022-120

受付時間：平日 10:00～17:00（土日祝日、年末年始、お盆は除く）

製品名「枝シュレッダー」と、ご購入された販売店、ご購入日、お問い合わせ内容をオペレーターにお伝えください。

記載がない場合は販売店名の明記された明細書や納品書と一緒に保管してください。

「故障かな？」と思ったとき、組み立て・使用方法の詳しいご案内、交換パーツに関するお問い合わせは、ホームページから「よくあるお問い合わせ」を閲覧いただけます。

<https://www.yardforcejapan.com/>

